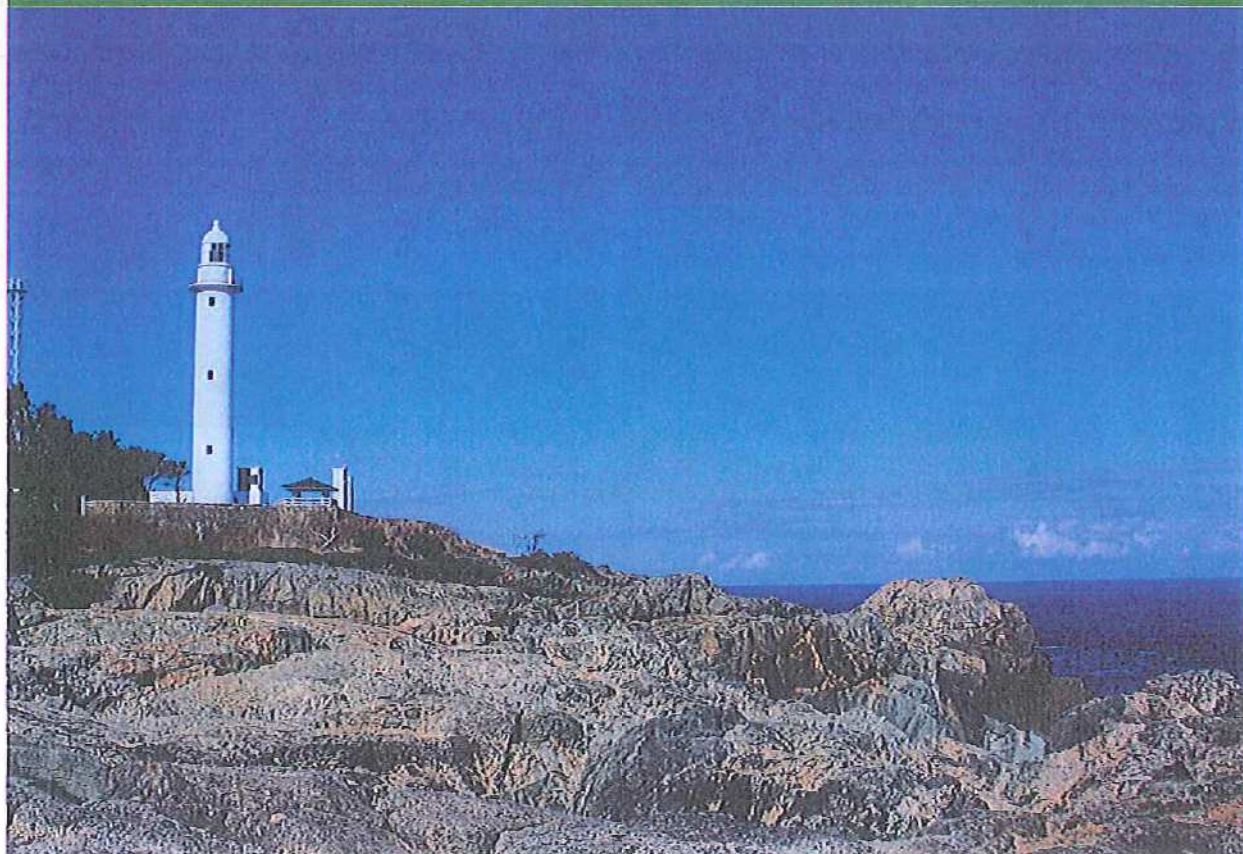


宮古市 本州最東端の地、鯨ヶ崎（陸中海岸国立公園）



宮古市 姉石の津波碑（陸中海岸国立公園）



釜石市 三陸浜街道石塚峠の里程塚



大船渡市 石川啄木の足跡



大船渡市 尾崎、死骨崎、首崎、脚崎、綾里崎



大船渡市 死骨崎、首崎、脚崎、綾里崎



大船渡市 碁石浜 ワカメの水揚げ（陸中海岸国立公園）



陸前高田市 小友浦



1948



1977

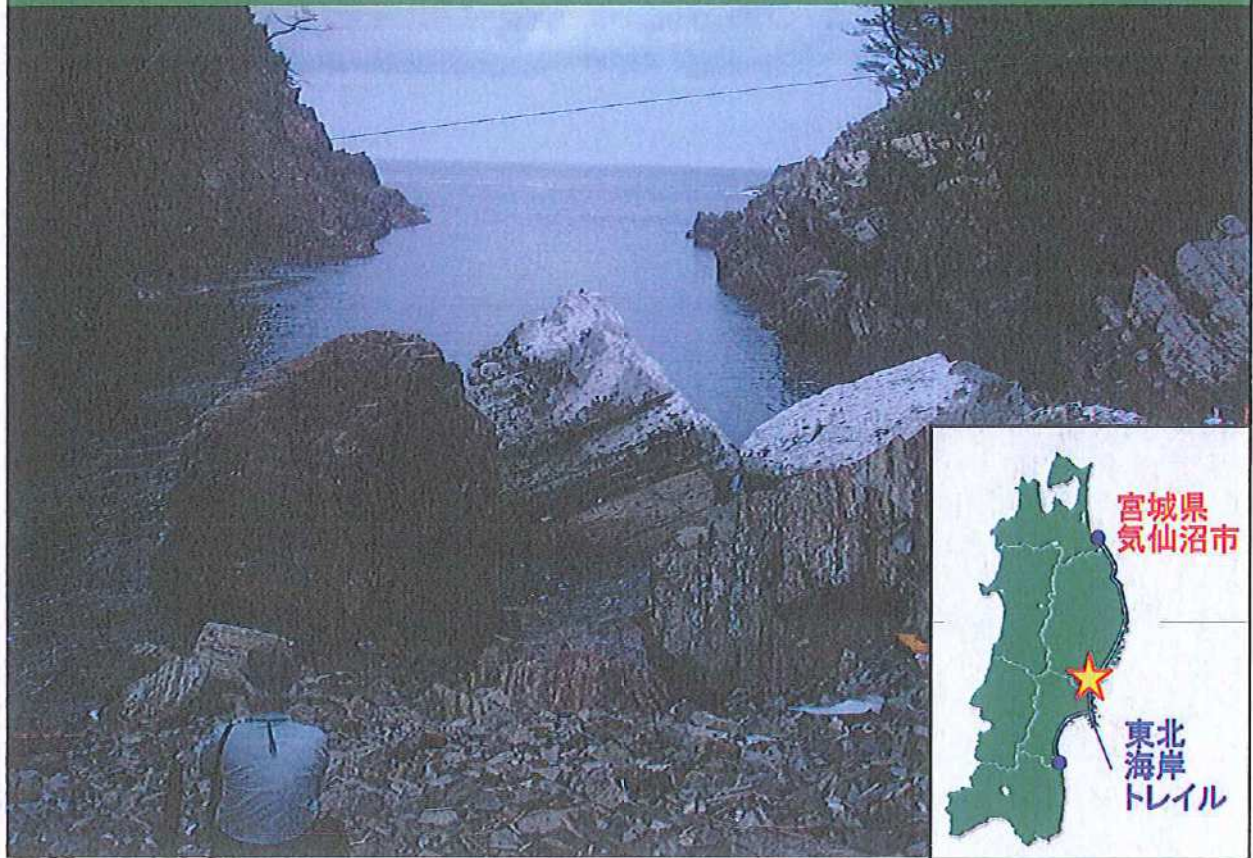


2011



2011

気仙沼市 唐桑の津波石（陸中海岸国立公園）



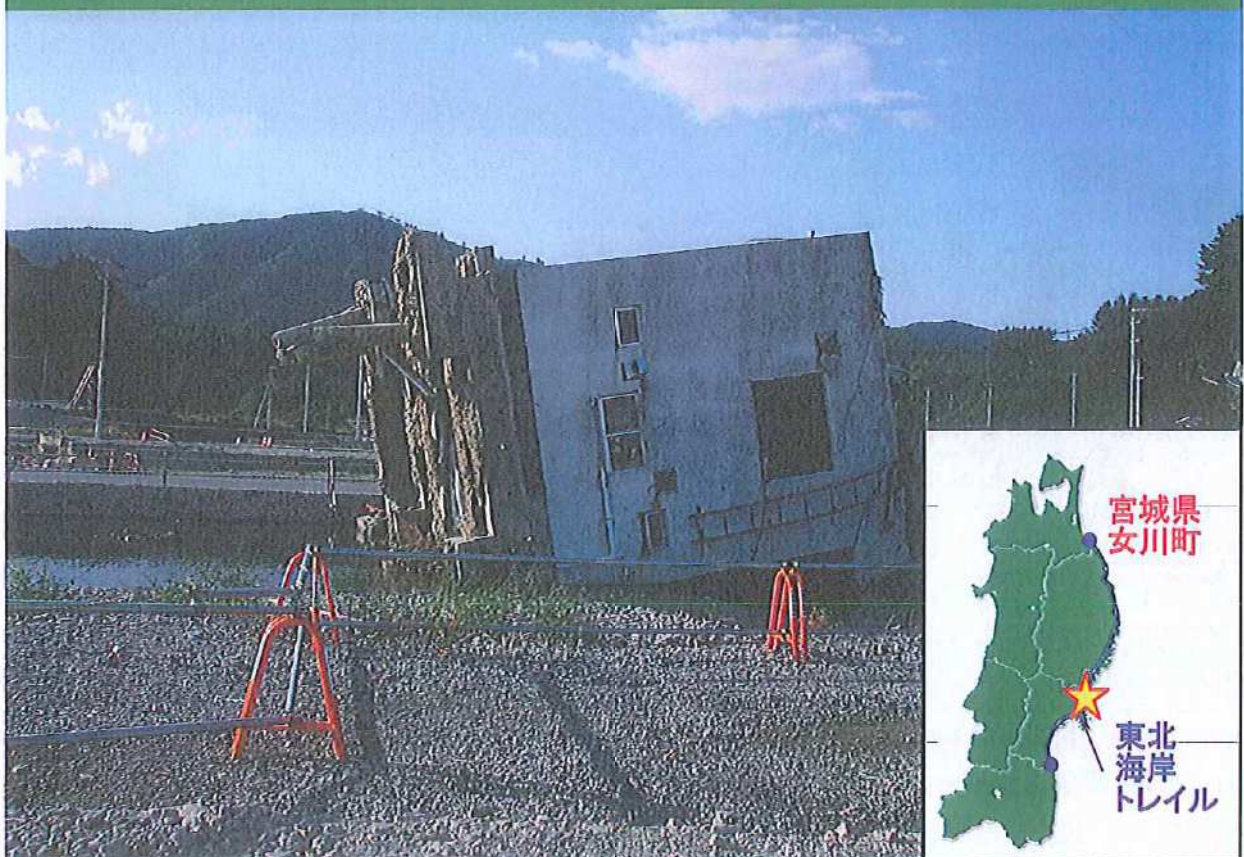
気仙沼大島 田中浜海開き



石巻市 雄勝湾を望む（硯上山万石浦県立自然公園）



女川町 震災遺構として残す予定の旧交番



塩竈市 浦戸諸島の渡し船（県立自然公園松島）



東北海岸トレイル（仮称）の魅力

（長距離自然歩道を除き）

- ✕ 日本版ロングトレイルの中では最長の700km以上となる予定
 - + 踏破を目標する人にとって大きな魅力となる
 - + 長期間歩いてくれることで地域のメリットも大きい
- ✕ 自然と町・集落を結ぶように設定し、地元の人とのふれあいが特に強いトレイルにできる
 - + 国内のロングトレイルは自然がメイン。



食、宿泊
会話

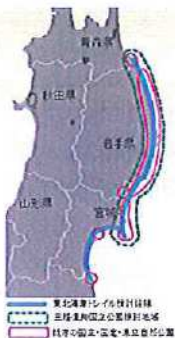
ロングトレイルをめぐる日本の状況

- × 「歩くこと」を活かした旅行/地域おこし等
 - + 各種旅行会社ツアー、鉄道会社の企画
 - + 日本各地で『ロングトレイル』や『フットパス』をつくる動き
 - + 日経トレンドィ
- 2013年ヒット予測第1位



ロングトレイルに関する記事





東北海岸トレイルの整備について(案)

<整備の考え方>

- 歩道本線やトイレ等付帯施設については、原則として既存のもの(自然歩道、集落道、農道、車道市町村道等)を活用する。
- 国立公園内の歩道に加え、国立公園内外の利用拠点や統一的に整備すべき標識類を環境省が整備。国立公園外の歩道は自治体が整備。
- 利用者の誘導・案内については、パンフレット等によるソフト的な対応も検討。

国立公園内

直轄事業 (事業主体:環境省)

○統一的標識



総合案内標識

○歩道の利用拠点

(各県1~2箇所程度予算要望中)



○その他の整備(付帯施設・標識等を含む)



歩道本線



転落防止柵



休憩・展望施設

国立公園外



誘導標識

※誘導標識等は、既存標識の活用を基本とする。



トレイルセンター
(トレイルの利用、管理・運営の拠点となる施設。必要に応じて展望園地や駐車場等を併設)

交付金事業 (事業主体:県、市町村 交付率:45%)

○その他の整備(付帯施設・標識等含む)



誘導標識



解説標識



公衆トイレ

成功へのカギ=『運営』

行政だけの取組には限界がある。地域や民間団体と連携することで、より発展性のある取組をし、地域に貢献できるトレイルを目指す。

× 情報の発信

- + 地図・ウェブサイト、最新情報の発信、食事処等の情報

× 魅力をきちんと見せる

- + ガイド、ガイドブック、イベント、ツアー等

× 歩きたくなる仕掛けづくり

- + 不便を解消するためのサービス(トイレ、アクセス等)
- + 全線踏破の認定、ハイカー向けサービス

運営力の向上→トレイルの魅力向上

長距離自然歩道

手軽に楽しくかつ安全、優れた風景地等を歩くことにより、沿線の豊かな自然環境や自然景観、歴史や文化に触れ、日本の風土を再認識し、自然保護に対する意識を高める。

名称	路線延長
北海道自然歩道	4,585.0 km
東北 " (新奥の細道)	4,374.4 km
首都圏 " (関東ふれあいのみち)	1,799.6 km
中部北陸 "	4,028.8 km
東海 "	1,697.2 km
近畿 "	3,294.6 km
中国 "	2,302.6 km
四国 " (四国のみち)	1,636.5 km
九州 " (やまびこさん)	2,920.3 km

ルートは環境省が決定
施設整備：国立公園内は環境省
国立公園外は自治体
(45%交付金)



地域での意見交換会

× 東北地方で6回開催

- + 済：八戸市(12/17)、田野畑村(12/7)、大船渡市(12/3)
- + 予定：宮城県内2箇所(1月中)、福島県内1箇所(1月中)

× トレイルの実現に向けた課題

× 地域で (/自分たちで) 取り組みたいこと



地域での意見交換会



- ・八戸会場 51名
- ・田野畑会場 34名
- ・大船渡会場 24名



踏破モニターによる資源掘り起こし



12月16日 22頁

2012年(平成24年)12月2日(日曜日) (18)

東北海岸トレイルモニター学生が八戸出発

県日本人観光からの誘導などを目的に、野崎真が三陸地域と界に設置する長距離トレイル「東北海岸トレイル」(仮称)で、モニター役の学生が1日、仮泊となる八戸市の船内から船橋までのトレッキングを計画した。

「トレッキング」は、モニター役として参加する学生は、八戸市船内から船橋までのトレッキングを計画した。モニター役として参加する学生は、八戸市船内から船橋までのトレッキングを計画した。

魅力掘り起こしPR

「(12月2日)デリーム」

福島まで700キロ歩き ネットで情報発信

「トレッキング」は、モニター役として参加する学生は、八戸市船内から船橋までのトレッキングを計画した。

探し歩く三陸の良さ

踏破モニター津野出発

三陸の地域資源掘り起こしのため、モニターとして歩きつづける津野さん(左から2人目)＝津野町

「トレッキング」は、モニター役として参加する学生は、八戸市船内から船橋までのトレッキングを計画した。

地域が考える、課題・取り組みたいこと

課題	取り組みたいこと
情報発信の仕方 トレイルとしてのブランド力（どうせ人なんか来ないんじゃない） トイレ不足 アクセス（交通手段）の不便さ ガイド・人材の不足 表示看板やガイドマップ 宿泊施設がない 景観向上のための整備（枝打ちなど） 自然歩道のメンテナンス 片手間でしか取り組めない	パンフやガイドの作成、避難マップの作成 全線踏破の認定、スタンプラリー ガイド・人材の育成 小型船（遊漁船）による送迎、漁師によるガイド 古老などに話を聞き、地域の資源を発掘 地域の食を手軽に食べられる処 トイレは沿線商店等に協力を依頼 標識等の表示充実 隠れたスポットを、（口コミ等をうまく誘導することで）ハイカー自身に発信してもらう 民泊

ソトから見て、あったらいいこと

※ 有識者ヒアリング、モニター、環境省が思うこと

あったらいいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・沿線の商店でガスカートリッジ等のバックパッカー用品を入手可 ・宿泊・バス（レンタカー）も含まれる旅行会社のパックツアー →そのためには地元ガイドが必要 ・1年間かけて全部回ることができるような民泊チケット。 ・ハイカーであることを示すIDカードやワッペン ・人生の思い出になるようなスタンプラリー ・地域の間伐材を使って簡素な看板を作ってはどうか ・小中学生に手書きの立て札や案内板などを作って貰うのも良いかも ・平らな切り株や岩を置き、少し休憩出来るような心遣い ・トレイルに関する情報を把握し、運営を担うトレイル事務局 ・ネーミングライツパートナー企業を募り、資金を運営にあてる。 ・広告代をもらい色々なものに企業ロゴを。資金は運営にあてる。 例：ハイカー印のワッペン、スタンプ帳、地図、道標、ベンチ